



KBF 関甲新学生野球
2023 新人戦

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
上武C	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	9	1
常磐B	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	6	0



写真 負傷のため主審に付き添われて本塁を踏む大塚

上武大学C戦
4-2



2試合連続!

2回

現社2年

常磐B 決勝T進出 逃す

関甲新学生野球新人戦、常磐大学Bの最終戦、上武大学C戦は4-2で敗北した。これにより、常磐Bは新人戦Dブロック2勝1敗の2位となり、決勝トーナメント進出を逃した。

【6/17 上武大学野球場】常磐Bの先発塚田晴斗（現社2）は、完璧な立ち上がりを見せる。2回裏、常磐Bの攻撃、4番の甲子園ボーイ大塚大（現社2）がセンター前で出塁するとすかさず盗塁を決めるが、続く3人が凡退する。そしてこの盗塁により主砲大塚は負傷し、試合は中断。

4回裏、常磐Bの攻撃、4番、満身創痍の大塚が3球目を左中間へソロ本塁打を放つ。が、先の負傷のため、走ることが出来ず、主審に付き添われ、歩いてダイヤモンドを回り、生還。相手ベン

チも唖然とする1発を放ってみせた。

その後、先発塚田は、5回まで上武打線を0に抑えるが、6回表に捕まる。先頭に安打を許し、2死を取るも走者2塁で4番に二塁打で同点とされる。その後の7回も塚田が踏ん張るをみせるが2死1,2塁のピンチで1番に二塁打を浴び逆転され、なおも2番にライト前を浴び、この回3点を失う。

4-1で迎えた最終回、常磐Bの攻撃、2死から5番矢部真至（現社2）がレフトオーバーの二塁打で望みをつなげ、6番境澤佑斗（現社2）がレフト前で意地の1点をとるが万事休す。4-2で敗戦した。バッテリーは、塚田晴斗、徳永拓瑠（現社2）-長山大輝（現社2）。

(文・小関貴大)

星取表 (2023年6月18日現在)

	常磐B	上武C	新潟	新医A	試合	勝	負	勝率
2	常磐大B	★	☆	☆	3	3		1.000
1	上武大C	☆	☆	☆	3	2	1	.667
4	新潟大	★	★	★	3		3	.000
3	新潟医福大A	★	★	☆	3	1	2	.333

予告

常磐大学A
最終戦!!

対・平成国際大学戦

6/24 12:30

上武大学野球場